



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ  
会社案内



Giving Shape to Ideas

# TRANSFORM

## 未来のための、“変革”を。

私たちを取り巻く社会が、これまでにない激しさで変化するなか、社会やお客様が求める価値も、大きく変化し、多様化しつつあります。こうした“変革の時代”にあって、企業が持続的な成長を実現するためには、その時々社会が、お客様が求める価値を的確に捉えたとともに、それらの価値を提供し続けられるよう、自らを変革していく必要があります。変化する社会のなかで、常に価値を提供できる存在であるために、コニカミノルタは、中期経営計画「TRANSFORM 2016」のもとお客様本位の企業へと転換していきます。その先にある、未来を見据えて。



## About KONICA MINOLTA 1 誕生から、現在

### 成長してきた、わたしたちのこれまで。

デジタル・ネットワーク化が本格化し、イメージング業界に大きな変化が起きつつあった2003年。このパラダイムシフトに対応して、ビジネススタイルを大きく変革するために、「光の技術」を原点とする2つの会社が統合し、コニカミノルタが誕生しました。

「新しい価値の創造」を経営理念とし、“The essentials of imaging”というメッセージを掲げ、新たなスタートを切ったコニカミノルタは、培ってきた多彩な「光の技術」を融合し、さまざまな「価値」を創造してきました。画像分野、光学分野、材料分野、微細加工分野といったコア技術の集大成であるオフィス機器や、医療現場のデジタル・ネットワーク化に寄与する医療用画像診断システム、世界最高峰の光学技術を駆使した産業用光学デバイスなど、独創的な製品を社会に提案し続けることで、確かなプレゼンスを確立するに至っています。

たコニカミノルタは、培ってきた多彩な「光の技術」を融合し、さまざまな「価値」を創造してきました。画像分野、光学分野、材料分野、微細加工分野といったコア技術の集大成であるオフィス機器や、医療現場のデジタル・ネットワーク化に寄与する医療用画像診断システム、世界最高峰の光学技術を駆使した産業用光学デバイスなど、独創的な製品を社会に提案し続けることで、確かなプレゼンスを確立するに至っています。

コニカミノルタが誕生してからの10年間で、ICTの進化は人々のライフスタイルやワークスタイルに大きな変化をもたらしました。もはや、優れた製品を提供するだけで、お客様の満足を得られる時代ではありません。これからは、お客様が、そして社会が抱える課題を共有し、その解決に寄与する「価値」を提案できる企業だけが、生き残っていく

でしょう。こうした認識のもと、コニカミノルタはハードを核としたビジネスモデルから、課題解決型のサービス・ソリューションを軸にしたビジネスモデルへと、“変革＝TRANSFORM”を進めています。多様な事業を展開する企業グループならではの、幅広いお客様との接点を活かして、お客様が抱える課題に深く入り込み、多彩な技術と製品、サービスを包括的に提供することで、これからの時代に求められる「新しい価値」を創造していきます。

進化を目指す、わたしたちのこれから。

## About KONICA MINOLTA 2 現在、そして未来へ

## お客様本位で業容転換を進め 高い付加価値をご提供する企業を目指します



コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長  
山名 昌衛

### 持続的な成長を実現するために 新中期経営計画「TRANSFORM 2016」を策定

コニカミノルタは、「世界の熾烈な戦いの中で、確実にトップティアとして勝ち残ること」「ジャンルトップを積み重ね、持続的な成長を実現すること」「DNAを進化させ、コニカミノルタブランドを輝かせること」を目的として、2003年に発足しました。それから10年を経た現在のポジションを見ると、欧米でトップクラスのシェアを有するA3カラー複合機や、グローバル市場でトップシェアを誇るカラープロダクションプリンターなど、市場で確かなプレゼンスを得るまでに至っています。

一方で、現在の私たちを取り巻く環境を見てみると、デジタル化やネットワーク化によって人々の生活がますます便利で豊かになり、それにとまって人々のライフスタイルやワークスタイルも多様化し、かつ急速に変化しています。これまでのようにモノをつくれれば売れるという時代は終焉を迎えました。今後も持続的な成長を実現するためには、お客様本位の思考と行動を徹底することで、お客様の求める価値をタイムリーに創出・提供できる企業へと進化していく必要があります。

当社は、昨年“One Konica Minolta”として、グループの力を結集すべく、経営体制の再編を行いました。

そして2014年4月からは、新たな中期経営計画「TRANSFORM 2016」をスタートさせました。私たちは、これからの3年間で、徹底したお客様本位の企業へと転換を進めます。そして、世界中のお客様との接点を有効に活用し、新しい価値を創出していくことでジャンルトップ戦略を進化させてまいります。

### コニカミノルタが目指す、5年後の事業像

「TRANSFORM 2016」では、業容転換を果たした5年後の事業の方向性として、二つの事業像を描いています。

一つは、「お客様視点でハード・ソフトを包括的に提供する事業」です。当社が手がけるオフィスサービス、商業・産業印刷、ヘルスケア、産業用光学システムといった事業は、いずれも、お客様のデジタルワークフ

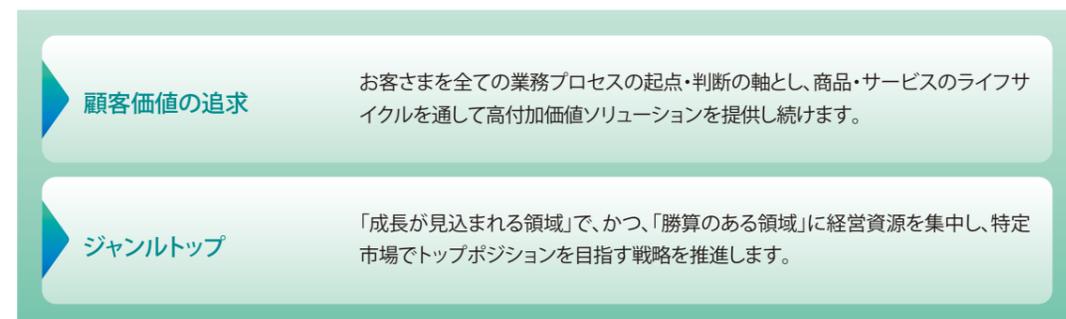
ローに焦点を当てたビジネスを展開していくことを事業コンセプトとしています。これらの事業においては、業種業態によって異なるお客様のニーズやワークフローに応じて、部材、機器、消耗品といったハードと、ITサービスといったソフトを柔軟に組み合わせ、他社には真似のできない高付加価値なソリューションを提供していきます。

そしてもう一つは、「材料技術を核としてオンリーワン部材を提供する事業」です。当社では、写真フィルムから有機EL照明の開発に至るまで、DNAとしてもっている材料技術の強みを独自に進化させてきました。これらの技術をベースに、さまざまな分野でお客様に革新をもたらすような高機能材料を開発・提供し、産業分野において必要不可欠な存在となることを目指しています。

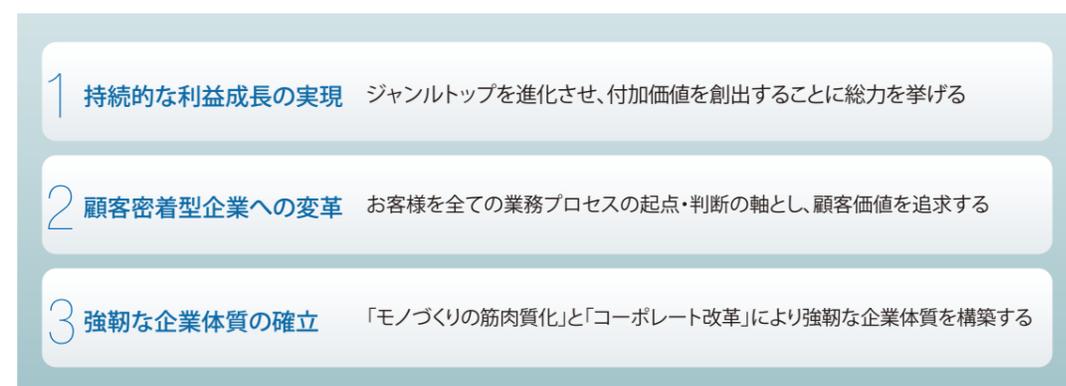
### フィロソフィーと中期経営計画の両輪による、目指す企業像の実現



## 5年後に目指す姿を実現するための「中期経営戦略」



## 「中期経営戦略」を実現するための3つの「基本方針」



## コニカミノルタフィロソフィーの再構築

「TRANSFORM 2016」は、経営ビジョンに掲げる「グローバル社会から支持され、必要とされる企業」「足腰のしっかりした、進化し続けるイノベーション企業」を実現するための道筋となるものです。

この計画を“One Konica Minolta”として推進していくためには、従業員一人ひとりの「実行力」が欠かせません。そこで、全世界4万人の従業員が同じ価値観のもと、能動的に判断し、行動できるようにするため、私たち

が大切にしてきた経営理念や、培ってきたバリュー、そして目指すべき姿を整理し、「コニカミノルタフィロソフィー」として再構築しました。

コニカミノルタは、このフィロソフィーを価値判断基準として、世界中の全従業員が一丸となって、お客さまのことを徹底的に考え抜き、その課題解決に貢献し続ける企業へと進化してまいります。

今後ともコニカミノルタへの変わらぬご支援を、宜しくお願い申し上げます。

コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長  
山名 昌衛

## Philosophy

コニカミノルタフィロソフィーは、世界で働く4万人を超えるコニカミノルタグループ社員の礎です。

私たちの存在理由を表す言葉である、経営理念「新しい価値の創造」。  
私たちがDNAとして受け継いできた強みを体系化した、6つのバリュー。  
私たちが目指す企業像を示す、経営ビジョン。  
そして、私たちからお客さまへの約束「Giving Shape to Ideas」。

お客さまと社会に、全力で貢献すること。それが、私たちコニカミノルタの最大の目標です。

## コニカミノルタフィロソフィー

### 経営理念

### 新しい価値の創造

### 6つのバリュー

Open and honest  
Customer-centric  
Innovative  
Passionate  
Inclusive and collaborative  
Accountable

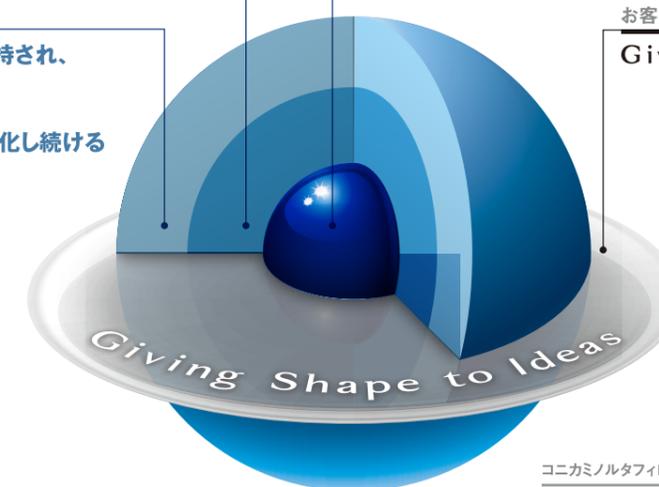
### 経営ビジョン

グローバル社会から支持され、  
必要とされる企業

足腰のしっかりした、進化し続ける  
イノベーション企業

### お客さまへの約束

Giving Shape to Ideas



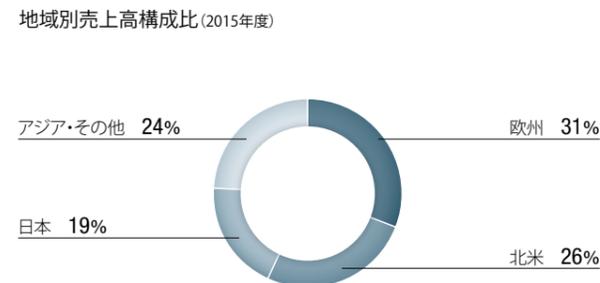
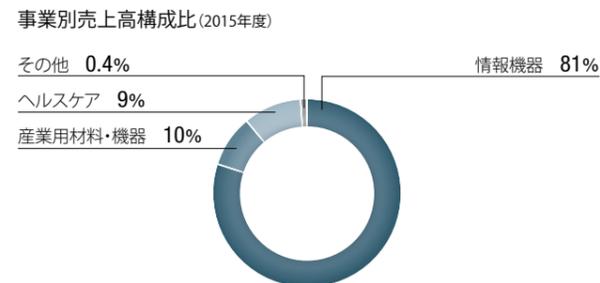
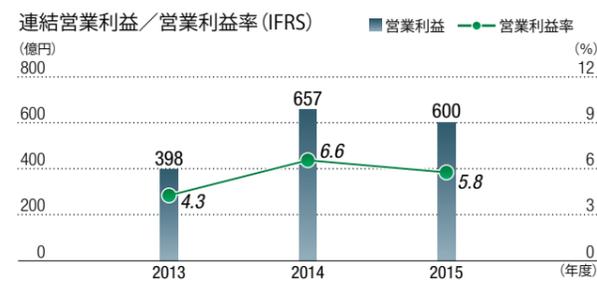
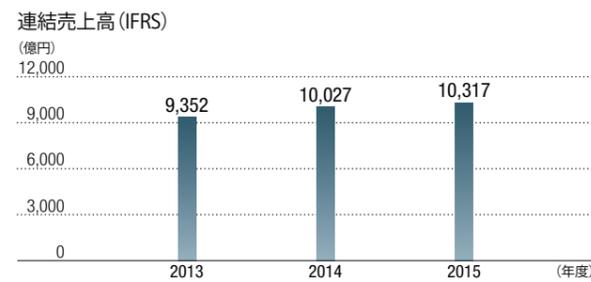
コニカミノルタフィロソフィーを実現するための行動スローガン  
simply BOLD

会社概要

本社所在地 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー  
 代表者 代表執行役社長 山名昌衛  
 設立 1936年12月22日  
 資本金 37,519百万円(2016年3月末現在)  
 決算期 3月31日

連結売上高 IFRS(国際会計基準):1兆317億円(2015年度)  
 従業員数 単体:6,198名(2016年3月現在)  
 連結:43,332名(2016年3月現在)

主要データ



ガバナンス体制

コニカミノルタは、経営の透明性・健全性・効率性を高めるために「指名委員会等設置会社」を採用し、取締役会に指名・監査・報酬の3つの委員会を置くとともに、経営監督を担う取締役と業務執行を担う執行役に機能を分離させています。重要な取引関係や当社役員との個人的な関係がないなど、独立性が高い社外取締役4名を含め、取締役会は執行役を兼務しない取締役が過半数を占めます。さらに、非執行役の取締役が取締役会議長を、社外取締役が各委員会の委員長を務めることにより監督機能を充実させています。併せて、取締役会から執行役へ業務の決定を大幅に権限移譲し、意思決定の迅速化を図っています。

取締役会メンバー11名

		指名委員会	監査委員会	報酬委員会
非執行役 7名	取締役(取締役会議長)	●		
	社外取締役	○		●
	社外取締役	●	○	
	社外取締役		●	○
	社外取締役	●	●	●
	取締役	●	●	●
	取締役		●	●
兼執行役 4名	取締役(代表執行役社長)			
	取締役(専務執行役)			
	取締役(常務執行役)			
	取締役(常務執行役)			

(2016年6月現在) ○は委員会委員長、●は委員会委員

# 事業紹介

## 新たな価値の創造に挑む コニカミノルタの総合力

オフィスサービス  
 ▶ p.09

商業・産業印刷  
 ▶ p.13

ヘルスケア  
 ▶ p.19

産業用光学システム  
 ▶ p.23

機能材料  
 ▶ p.25

# お客様のワークフローを革新するソリューションを

世界有数の複合機 (MFP: Multi-functional Peripherals) メーカーとして、高性能・高品質な製品を世界中のオフィスに提供してきたコニカミノルタ。近年は、産業・社会のデジタル・ネットワーク化を踏まえ、多様な製品群と、高度なICTサービスとの組み合わせによって、お客様のオフィス環境をトータルに最適化するソリューションを提供しています。



## Multi-functional Peripherals

### 世界トップクラスのカラー複合機

コピーやプリンター、スキャナー、FAXなど、多様な機能を兼ね備えた複合機は、現代のビジネスシーンに欠かせない存在です。コニカミノルタの複合機「bizhub (ビズハブ)」シリーズは、“businessのHub (中心・中核)”という名の通り、世界中のオフィスで、お客様のビジネスの質と効率を高めています。なかでも、いち早く注力してきたカラー機分野では、独自開発のカラートナーによる美しい出力と幅広い製品ラインアップで、市場の信頼を獲得。現在、オフィス用A3カラー複合機は、海外市場でトップレベルのシェアを確立しています。

## Services

### ワークスタイルの変化に柔軟に対応

ITの進化やグローバル化などによってワークスタイルが大きく変化するなか、コニカミノルタは、複合機とモバイル端末やクラウドサービス「INFO-Palette Cloud」を組み合わせたソリューションを提供するなど、ワークスタイルの変化に応じた多様なサービスを提案しています。さらに、オフィスの出力環境を最適化する「Optimized Print Services (OPS)」や、多様なコンテンツを統合管理する「Managed Content Services (MCS)」、ITインフラの構築・運用などを通じて、お客様のデジタルワークフローに入り込んだソリューションを提案し、ビジネスの効率化・合理化、生産性向上をサポートしています。

## Global Major Account

### グローバル企業のビジネスを強力にサポート

オフィス環境の最適化によって得られる効率化・コストの改善効果は、オフィス規模に比例して大きくなるもの。世界各地に多くの拠点を構えるグローバル企業であれば、その効果は計りしれないものがあります。コニカミノルタは、これらグローバル企業のニーズに積極的にお応えするため、世界約150カ国にわたるセールス/サービス体制のもと、「GMA (Global Major Account) ビジネス」を展開。グローバルな視点に立ったソリューション提案を通じて、企業全体での業務効率化やコスト削減に貢献するとともに、社会全体でのムダを省き、エネルギーや資源の消費削減にも貢献しています。



## 経営課題の解決に貢献する、 コニカミノルタのワークフローサービス

### Case 1 国際物流企業の出力環境をグローバルに見直し

課題

#### ドキュメント管理の効率化とセキュリティー強化

物流業務では、一般的な事務書類に加えて、輸送貨物ごとに船積書類を作成・出力します。この書類は、輸送貨物を確実に輸送するためのもので、輸送代金の決済にも使われます。

ある国際物流企業グループでは、これらの膨大な書類を各拠点がそれぞれ作成・出力していましたが、そのための労力やコストに加えて、管理面、セキュリティー面でさまざまな課題を抱えていました。



ソリューション

#### プリント環境の見直しで課題をクリア

コニカミノルタは、この企業グループに対し、プリント環境最適化ソリューション「Optimized Print Services (OPS)」を活用して、全拠点をカバーするソリューションを提案しました。

まず実施したのが、各拠点のオフィスにおける出力機器の置き換えです。出力機器を最先端の複合機に集約し、台数を約半分にすることで、印刷効率を向上させるとともに、消費電力やメンテナンスの手間を削減しました。

また、複合機への一括置き換えにより、IDカードによるプリント認証の導入が可能となり、書類の取り忘れなどによる情報漏えいを防ぎ、セキュリティーが強化されました。IDカード利用の情報を管理・分析することで、ムダな出力の抑制にもつなげています。

ドキュメント・フォームも全拠点で統一され、それらを複合機でスキャンして統括オフィスのサーバーに集約することで、グローバルな情報共有を促進し、業務全体の効率化にも貢献しています。

### Case 2 不動産管理業における資料管理をスピーディーに

課題

#### 膨大な物件データ・契約書管理の効率化

不動産管理業では、物件ごとに契約書、間取り図、物件写真といった多様な資料を取り扱います。

不動産会社では、物件の紹介から契約、その後の管理から解約に至る業務プロセスにおいて、これらの資料をシステム上で一元管理していますが、個別資料から必要な情報を手入力するのに膨大な時間とコストがかかっており、いかに効率化することが課題となっています。



ソリューション

#### データベース化による業務フロー改革を実現

コニカミノルタは、このような課題を抱える不動産会社に対し、コンテンツ管理を効率化する「Managed Content Services (MCS)」によるソリューションを提案しています。

例えば、複合機で紙書類をスキャンする際に「ゾーンOCR<sup>※</sup>」を利用すれば、書類内の契約番号や物件の住所などを自動的に抽出して読み取ってくれるため、作業者は正しいかどうかの確認作業を行うだけでデータベース化できます。これにより、従来のような紙を見ながらの手入力が不要になり、業務スピードが大幅に向上します。

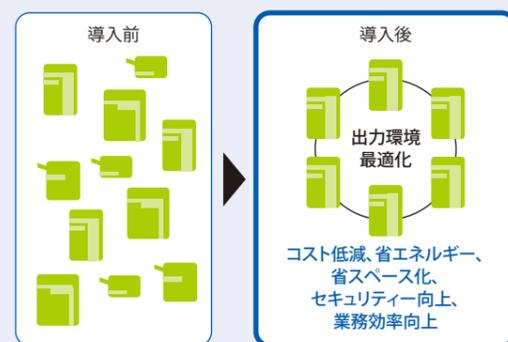
さらに、データベースには文字データだけでなく、間取り図や地図、写真などの画像データも紐づけることができ、情報の確認・更新・追加、書類作成・出力など、一連の業務がネットワーク上で可能になります。これにより、契約更新時期に当たる物件だけを抽出して、自動で更新契約書類を作成したり、顧客の希望する間取りの物件だけをまとめて資料化したりと、さまざまな場面で効率的な業務フローの実現をサポートします。

※OCR(Optical Character Reader)：印刷された文字を光学的に読み取り、自動的にデータ化する仕組み

#### オフィスのプリント環境を最適化する「Optimized Print Services (OPS)」

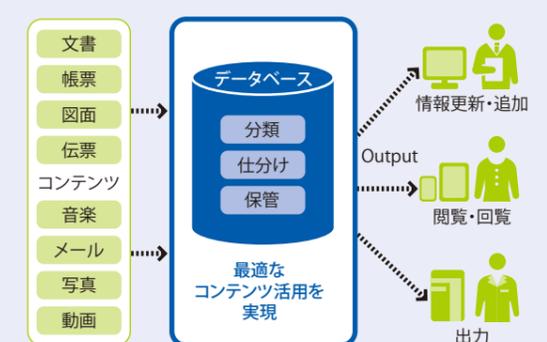
コニカミノルタは、出力機器の運用を一括受託し、ネットワークによる集中管理を通じて最適配置や稼働率の向上などを実現する、プリント環境最適化ソリューション「Optimized Print Services (OPS)」を、全世界統一のサービスとして提供しています。

OPSは、お客様ごとのご要望や課題を踏まえた「コンサルティング」、最適な出力機器の導入から定着までを支える「実行」、そして出力機器の利用状況をモニタリングしながら、新たな課題を見出す「マネジメント」というサイクルを通じて、継続的な改善を実現します。



#### 多種多様なコンテンツの有効活用を実現する「Managed Content Services (MCS)」

コニカミノルタは、企業に蓄積され続けるコンテンツの有効活用という課題を解決するサービスとして、「Managed Content Services (MCS)」をグローバルに展開しています。MCSは、コンサルティングに基づく改善提案と、コンテンツ管理のための専用ソフトウェア、データの入出力を担う複合機および紙文書の電子化サービスを、お客様にワンストップで提供。多様かつ膨大なコンテンツを電子データとして一元管理し、より効率的な活用を可能にすることで、お客様の業務効率向上はもちろん、コスト削減や環境負荷低減、さらにはセキュリティーや事業継続性の強化にも貢献します。





# 印刷業務を革新する 最適な出力ソリューションを

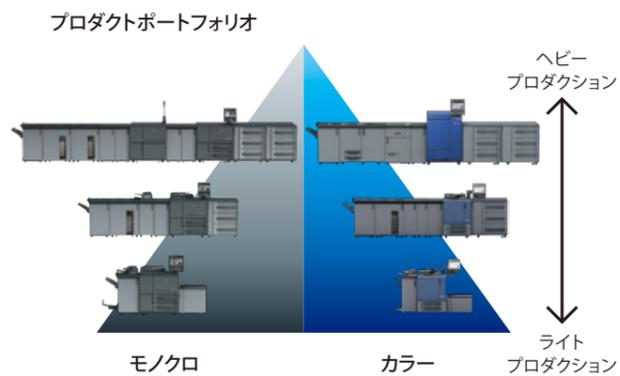
デジタルメディアとの連携ニーズの顕在化や、企業の出力物の多様化を背景に、小ロット印刷や可変データへの対応に適したデジタル印刷の普及が進んでいます。コニカミノルタは、世界シェアトップクラスの中低速デジタル印刷機はもちろんのこと、多様な印刷システムやサービスを提供することで、印刷業務の最適化を支援しています。



## Digital Printing Systems

### 用途や目的に応じた 多彩な製品ラインアップ

商業印刷の現場では、アナログ印刷からデジタル印刷への転換が世界中で進んでいます。その背景には、テクノロジーの進化により、アナログ印刷とほぼ同等の画質や信頼性を実現するとともに、微妙な色調の再現性が向上したことがあります。コニカミノルタは、高度なコア技術を駆使して、より速く、より美しく、より安定したデジタル印刷を実現。カラー／モノクロの両分野で幅広い製品をラインアップし、お客様ごとに異なる用途や目的に合わせて、求められる品質や生産性、紙種、後加工などに応じた最適なデジタル印刷システムを提供しています。



## Print Outsourcing Service

### 企業向けの最適な 印刷・出力サービスを提案

近年では、業務効率化やコスト削減、環境負荷低減に向けて、会議資料や帳票類、名刺、ダイレクトメールなど、業務上で使用する各種印刷物をいかに合理的・効率的につくるかが、企業の大きな課題となっています。コニカミノルタは、企業内印刷室向けに高速・高精度なデジタル印刷システムを提供するとともに、グループ会社であるキンコーズを通じてオンデマンド出力サービスを提供。社内印刷とアウトソーシングの最適な組み合わせを提案することで、お客様社内の印刷・出力業務に関わる課題解決をサポートしています。

## Marketing Print Management Service

### 企業のマーケティングプロモーションの 最適化へ

マーケティング部門における印刷・出力ツールの効率化と効果の最大化に向けて、制作から発注、納品に至る一連の業務を委託する「プリント・マネジメント・サービス」へのニーズが、欧州を中心に高まっています。コニカミノルタは、グループ会社でこの分野に豊富な実績を持つ英国のチャーターハウス社、豪州のエルゴ社のノウハウを活かして、マーケティング領域に特化した「Marketing Print Management (MPM)」をグローバルに展開。販促活動に関する出力物について、企画支援から業務プロセス改善、コスト改善などのコンサルティングまで、最大の投資対効果を挙げられるようトータルにサポートしています。



# 企業内印刷業務の最適化を支援する、コニカミノルタのプリンティングソリューション

## Case 1 自動車メーカーの効果的なPRのために

### 課題

#### 販促ツールに関わる業務の効率化

コンシューマー製品にとって、カタログやダイレクトメール、店頭POPなどの販促ツールは、その売上を左右する重要なもの。とはいえ、各部門がそれぞれ個別に多様な販促ツールを作成しているのは、その制作・出力に関わる労力やコストは、まとめる膨大なものになり、投資に対する効果の算出も難しくなります。

ある自動車メーカーでは、マーケティングスタッフを市場分析や戦略立案などに専念させるため、販促ツールの制作・出力業務を効率的に運用するソリューションを求めていました。



### ソリューション

#### ムダや課題を洗い出し、お客様とともに解決

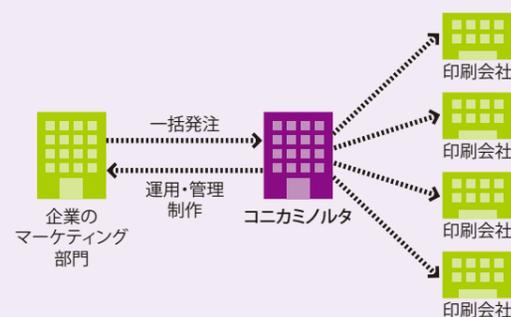
コニカミノルタグループのチャーターハウス社は、この自動車メーカーに対し、「Marketing Print Management (MPM) サービス」によるソリューションを提案しました。

まずは、販促ツールの制作・出力プロセスを熟知したスタッフが、各部門で綿密なヒアリングを実施。全社でどれだけの販促ツールが制作されているかを洗い出し、そのプロセスを可視化しました。その結果、「同じようなカタログを複数作成している」「共通化できる画像を何度も撮影している」といったムダを見つけ出すとともに、「同じ製品なのにツールごとに統一感がない」「求める品質に仕上げるための工数が多過ぎる」など、根本的な課題も見つかりました。

この結果を踏まえ、マーケティング部門のオフィス内に専門性の高いノウハウを持ったスタッフを常駐させ、社内の販促ツール制作を一元管理することで、ムダや課題を改善。さらに、印刷やコンテンツ制作者などのネットワークを活かして、ツールごとに最適な協業者を選択することで、品質向上とコスト低減を実現し、投資対効果の最大化を図ることができました。

### マーケティング活動を支援する「Marketing Print Management (MPM) サービス」

コニカミノルタの「Marketing Print Management (MPM) サービス」は、企業のマーケティング部門からの販促物関連の企画から制作・運用業務を一括で請け負い、マーケティング活動の成果の最大化を図るサービスです。経験豊かなオンラインスタッフを派遣し、例えば印刷発注プロセスの改善や、デジタルメディアの活用を提案することで、コスト削減や業務効率化に加え、販促関連活動の効果の最大化に貢献します。また、出力機器メーカーとして培ったノウハウを活かして、印刷会社にプロセス改善や高性能な機器の提案を行うことで、印刷自体の品質向上や生産性向上にも貢献します。



## Case 2 広告会社のプレゼン資料を、より美しく

### 課題

#### 訴求力の高い資料づくりに適した出力環境

広告業界では、顧客企業へ訴求力の高いプレゼンテーション資料づくりが重要です。提案するコンセプトを理解していただくためには、視覚的に訴える高画質のカラー出力や効果的に加工された製本作成が必要になります。また、少量多種の資料が必要な案件においては、その出力だけでも大きな手間がかかります。さらに、急なシナリオ変更や修正などがあつた場合には、出力作業にまで手間を割けなくなる、といったケースもあります。



### ソリューション

#### 必要に応じて活用できる出力サービスを提供

コニカミノルタグループのキンコース・ジャパン(株)は、このような課題をもつ広告会社に対し、必要なとき、どこにいても、必要な量だけ、後加工や製本など最適な形態で出力できる「On Demand Print (ODP) サービス」を提案しています。

キンコースは、全国的な店舗ネットワークとオンラインネットワーク、さらに専任の営業担当によるきめ細かな対応が取れる体制を整えています。お客様は作成した資料データを渡し、使用したい体裁の要望を伝えるだけで、手間と時間をかけずに最適な出力物を受け取ることができます。例えば、深夜に資料データをオンラインで送付すれば、翌朝に店舗でプリントされた資料を受け取ることが可能です。また、高速カラー出力機を全店に配置しているため、写真やCGなどの画像も美しく出力できます。さらに、さまざまな厚さや質感の紙を使用できるため、ニーズに合致したさまざまな仕様の資料を1部から出力可能です。

こうしたサービスを通じて、お客様の時間や工数に負担をかけずに、より訴求力の高い資料をタイムリーに制作できる出力ソリューションをご提供しています。

### 用途に応じて最適な出力サービスを提供する「On Demand Print (ODP) サービス」

コニカミノルタは、お客様企業の出力アウトソーシングニーズに応える「On Demand Print (ODP) サービス」を展開しています。出力物の用途・目的に応じて、さまざまなサイズ、用紙での出力から、仕上げ・加工、さらにはデザイン・レイアウトに至るまで、多様なサービスを提供しています。また、機密性の高い資料の出力や大量ロットの出力にも対応する体制を整えています。

さらに、自社内にプリントセンターをもつお客様に対しては、コーディネーターがお客様先に常駐してプリントセンターの運営・管理業務をサポートします。



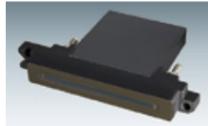
## インクジェット技術の可能性を拓ける、 新たなイノベーションを

コニカミノルタは、高度なインクジェット技術を駆使して独自のインクジェットヘッド、プリンター、そしてインクまでも開発し、高速化や高画質化、低消費電力化といった市場ニーズにお応えしてきました。今後もさらなる技術革新を通じて、産業用インクジェットの活用範囲を拡大していきます。



### 大型のサインボードへの プリントを効率的に

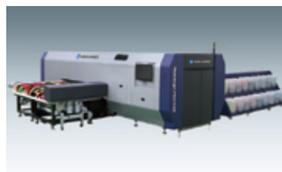
経済発展が著しい中国などを中心に、看板や屋外ディスプレイ用の大判インクジェットプリンターの需要が拡大しています。コニカミノルタは、大型プリントの課題である画質と効率性を両立するイノベーションを実現。ノズルの高密度化で高画質を、印字幅の拡大によって生産性を高めるとともに、プリンターの消費電力削減にも貢献しており、優れた機能と品質が認められてトップシェアを獲得しています。



インクジェットヘッド「KM1024」

### テキスタイル分野での 高精細なデザイン表現に

近年、テキスタイルの分野では、多品種・小ロット生産対応できる「デジタル捺染」が広がっています。コニカミノルタのテキスタイルプリンター「Nassenger」は、高度なインクジェット技術により、業界最速クラスのスピードで、なめらかなグラデーションや微妙な色調を再現。消費電力や廃棄物、水資源使用の削減にも寄与することから、世界各地で高評価を獲得しています。



Nassenger PRO1000



### 電子回路基板の精密な回路プリントに

インクジェットは、ヘッドがプリント面に接することなく、精密で高速なプリントが行えるため、電子回路の配線形成や、液晶パネル用カラーフィルターの印刷、太陽電池のレジスト成膜など、エレクトロニクス分野でも期待が高まっています。コニカミノルタでは、各種インクはもちろん、多様な薬液にも対応可能なインクジェットヘッドを開発し、エレクトロニクス産業の生産効率向上に貢献します。

## Topics 1

### フランスMGI社と提携し、 デジタル印刷分野での対応力を強化

商業印刷分野のデジタル化が加速するなかで、樹脂など紙以外のメディアへの出力や、印刷物に高付加価値を与える後処理加工へのニーズが高まりつつあります。コニカミノルタは、こうしたトレンドを見据え、デジタル印刷市場において高いマーケティング力と独創的な開発力を持つフランスの出力機器メーカー、MGI Digital Graphic Technology社 (MGI) と開発・販売業務を提携しました。今後は同社が得意とするデジタル後処理加工や産業用印刷の成長分野において、両社の強みを融合しながら積極的な展開を図っていきます。



## Topics 2

### プロフェッショナルのニーズに応える インクジェット印刷機「KM-1」を開発

近年の商業印刷分野では、デジタル化が進展する一方で、プロフェッショナルのユーザーを中心に、オフセット印刷に比べて画質や信頼性が不十分との声が聞かれています。こうしたニーズに応えるべく、コニカミノルタでは高画質・高信頼性のインクジェット印刷機「KM-1」を開発。コニカミノルタのインクジェット技術と小森コーポレーションの搬送技術を融合することで、コート紙、非コート紙、アート紙など幅広い紙上で、オフセット品質に迫る高品質を実現します。さらに、印刷フィルムなどの製版が不要というインクジェット印刷ならではの強みを活かして、さまざまな可変データの印刷を効率化します。

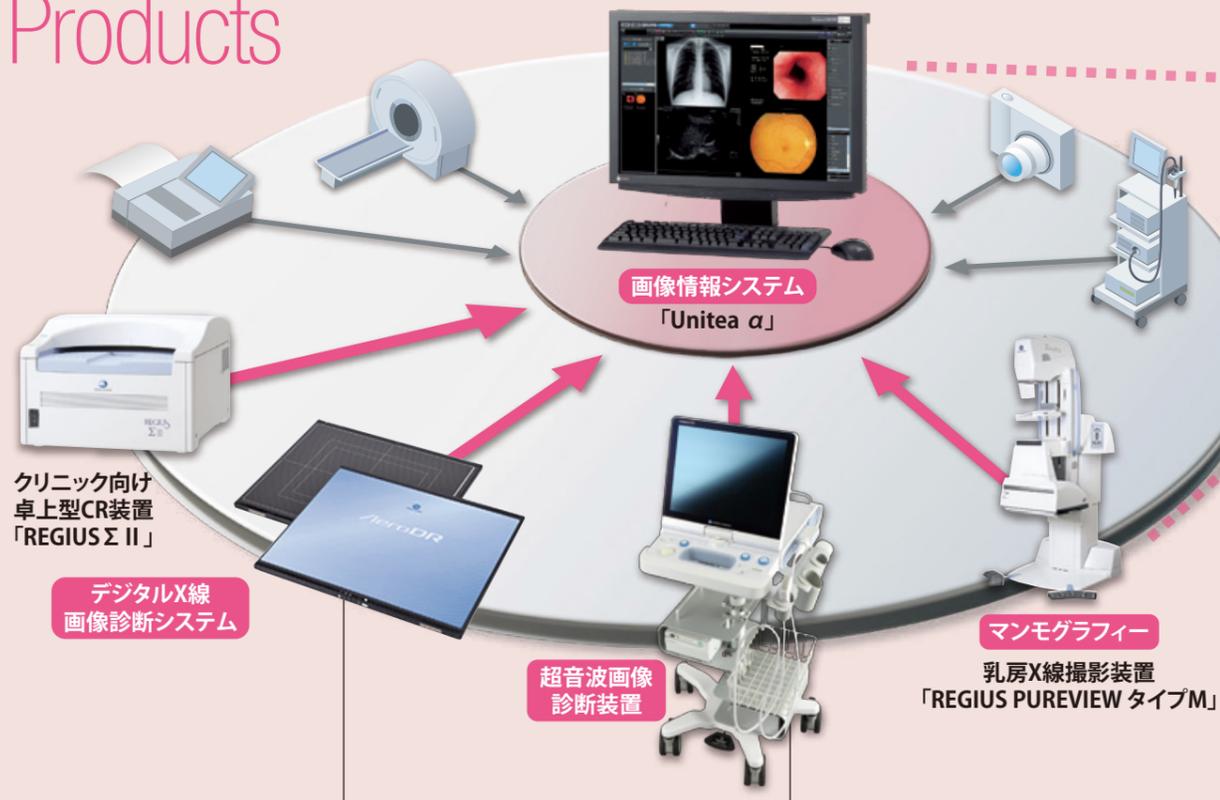


KM-1

## 医療のデジタル化・ネットワーク化を支援 診断サービスの向上へ

日本におけるレントゲンフィルムのパイオニアとして、医療診断用画像技術をコアに、医療現場のニーズに応えてきたコニカミノルタ。  
近年では、医療のデジタル化・ネットワーク化に寄与する機器やシステム、ICTサービスをトータルに提供することで、より迅速、確実な診断サービスの実現に貢献しています。

### Products



#### Digital Radiography

##### 軽くて丈夫! 高画質・低被曝な カセット型X線撮影装置「AeroDR」

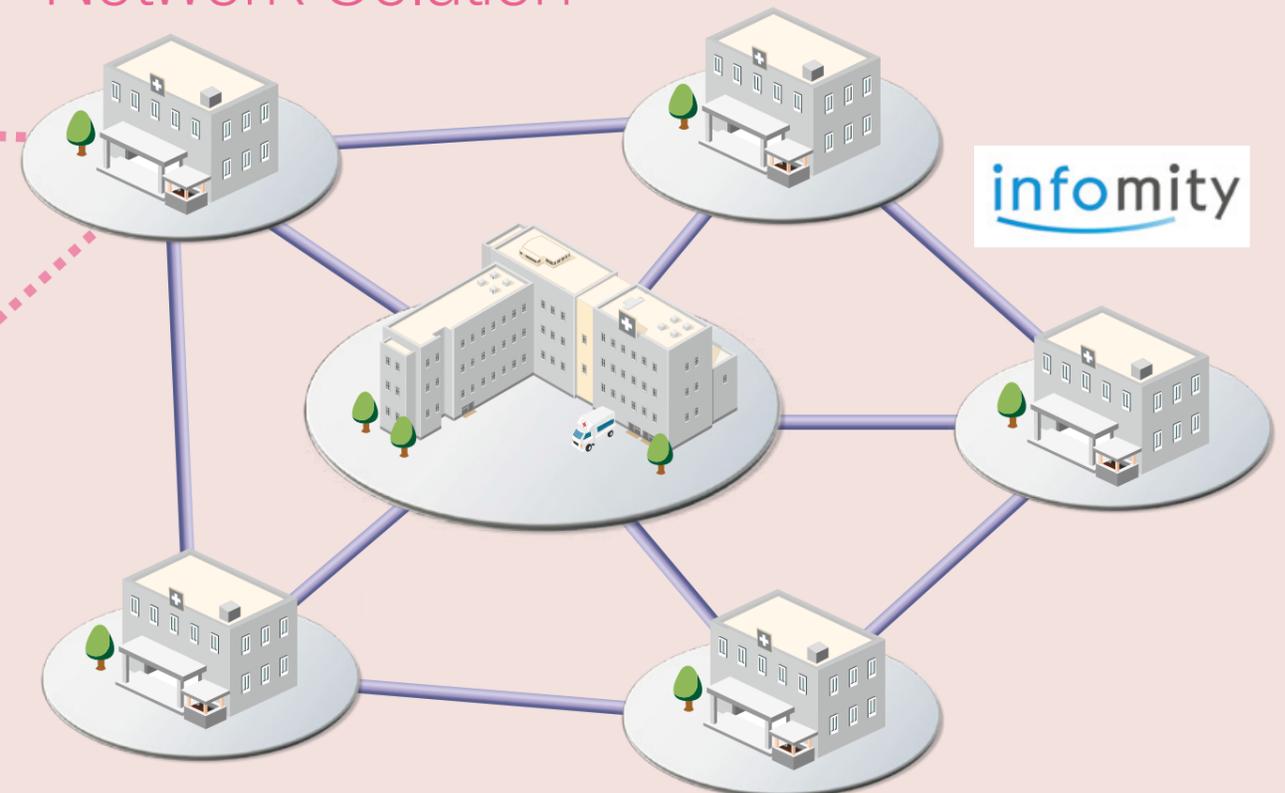
近年、医療現場のデジタル化が医療に携わる方々や患者さんの負担を大きく軽減しています。DR (デジタルラジオグラフィ) は、フィルム撮影に比べて患者さんのX線被曝量を低減するとともに、より高精度な画像を撮影後すぐに表示できるメリットがあります。しかし、従来のDRは重い上に電源用やデータ送信用のケーブルが必要なため、撮影時の作業性が課題となっていました。コニカミノルタが開発した「AeroDR (エアロディーアール)」は、徹底した軽量化とワイヤレス化により、この課題を改善。DRのさらなる普及拡大に貢献しています。

#### Diagnostic Ultrasound Systems

##### 繊維構造まで鮮明に見える 超音波画像診断装置「SONIMAGE HS1」

超音波画像診断装置は、患者さんの体への負担が少なく、リアルタイムに画像を観察できるため、幅広い診断領域への応用が期待されています。コニカミノルタは、安全に穿刺治療をするための穿刺針強調処理を搭載し、太さ数十～数百ミクロン程度の筋束や神経束の繊維構造まで鮮明に見ることができる、高画質な超音波画像診断装置「SONIMAGE HS1 (ソニマージュ エイチエスワン)」を独自技術により開発しました。分解能の高い鮮明な画質は、内科、産婦人科に加え、今後は整形外科や乳腺科などでの新たな利用拡大に貢献できるものと考えています。

### Network Solution



#### Network Solution

##### 医療のネットワーク化を支援する ICTサービスプラットフォーム「infomity (インフォミティ)」

医療現場におけるデジタル化の進展とともに、ネットワーク技術を利用した医療ICTサービスへの期待が高まっています。コニカミノルタは、こうしたニーズを先取りし、医療機関のネットワーク化を支援する医療ICTサービスプラットフォーム「infomity (インフォミティ)」を提供。医療業務のさらなる効率化、高度化に貢献しています。

「infomity」は、複数の病院や診療所間で画像データや情報を保管・共有できる「連携BOXサービス」、院内からアップロードした連携BOX内の画像をスマートフォンやタブレットで確認する

ことができる「連携BOXモバイルサービス」に加え、診断用画像データをクラウド上に安全に保管する「データバンクアーカイビングサービス」、医療機器のメンテナンスをインターネットを介して速やかに行う「リモートメンテナンスサービス」など、さまざまなメニューを備えています。

2014年には、クラウド型のポータルサイトにより在宅チーム医療を支援する「在宅メディケアクラウド」を新たにスタートするなど、ICTの進歩と医療現場のニーズを見据えながら、サービスラインアップを拡大しています。



## より良い医療環境づくりに貢献する、 コニカミノルタのICTサービス

### Case 1 医療連携ネットワークの構築を支援

#### 課題

#### 地域の診療所と中核病院の連携強化

各分野の専門医や先端の医療設備を備える中核病院と、近隣の患者さんに寄り添う診療所が遠く離れている地域においては、容易に連携が取れない状況にあります。

このような地域において、「点在している医師たちが、ネットワーク上で一つの総合病院になればいい」との考えから、中核病院と診療所が連携する体制づくりを進めるなかで、そのためのネットワークインフラをいかに構築するかが課題となっています。



#### ソリューション

#### インターネットを介した医療連携を実現

コニカミノルタは、このような地域の病院に対して、「連携BOXサービス」を活用した医療連携ネットワークの構築を提案。遠く離れた医療機関同士で、インターネットを介した医療情報の共有を可能にします。

例えば、急を要する患者さんが診療所に担ぎ込まれた場合、中核病院の専門医と診断用画像を共有して相談することで、中核病院での手術が必要か、診療所の治療でよいのか、判断を下せます。中核病院での手術となった場合でも、あらかじめ情報を共有することで、患者さんが搬送されるまでに、適切な準備を整えることができます。

このほかにも、離れた場所の専門医同士が、同じ画像を見ながら意見交換することも可能になります。さらに、入院中の患者さんの容態が急変した際に、担当医が夜間や出張中などで不在にしている場合、自宅や出先から画像を見て、必要な対応を取ることができます。

このように、さまざまな連携を可能にすることで、医療サービスの質を高め、安心して暮らせる社会づくりに貢献しています。

### Case 2 在宅チーム医療を支えるクラウドサービス

#### 課題

#### 多様な医療従事者間のタイムリーな情報共有

近年、日本では高齢化やベッド数不足などを背景に、患者さんの自宅で診療する「在宅医療」へのニーズが高まっています。より良い在宅診療の実現には、各分野の医師や薬剤師、看護師、リハビリ職員、ケアマネジャー、介護士などがチームとなって患者さんや家族を支える「在宅チーム医療」が欠かせません。そこで、専門の異なる多様な医療従事者が、いかにタイムリーかつ詳細に情報を共有するかが、課題となっています。



#### ソリューション

#### ポータルサイトを介した緊密な連携を実現

コニカミノルタは、こうした課題に対するソリューションとして、「在宅メディケアクラウド」を提案。在宅医療チームを構成する医療従事者に、患者情報を共有するためのポータルサイトを提供することで、チーム内でのより緊密な連携を可能にしています。

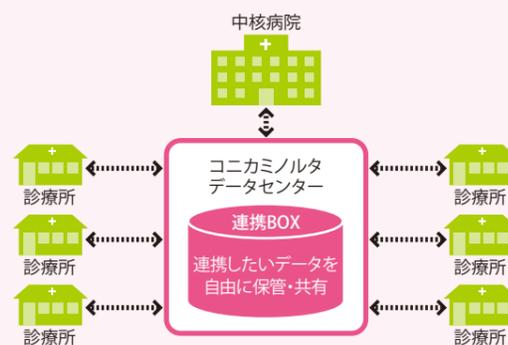
例えば、患者さんの体温や血圧、脈拍などは、医師、看護師、介護士などが訪問するたびに測定されます。それらのバイタルデータを測定したその場で、タブレット端末などを活用して入力すると、それぞれが入力したデータが蓄積・統合され、日々の変動を一つのグラフとして、全員で共有・活用することができます。

また、床ずれなどの状況も、それぞれが撮影した写真を共有することで状態の変化をタイムリーに把握でき、SNS機能で互いにコミュニケーションをとることで適切な対処が可能になります。さらに、薬剤師が全ての処方箋を管理できるので、皮膚科医と歯科医から、それぞれ痛み止めを処方された場合でも、重複して服薬する事態を防止できるなど、さまざまな面で医療サービスの質の向上に貢献します。

#### インターネットを通じて医療情報を共有する「連携BOXサービス」

コニカミノルタの「連携BOXサービス」は、インターネットデータセンターを介して、離れた医療機関同士での情報共有を可能にするサービスです。万全のセキュリティ対策のもと、電子カルテや診断用画像などのデータを、いつでも、どこでも確認できるため、複数の医師による医療連携を実現します。

専用回線などは必要なく、インターネット接続環境があれば、簡単かつ低コストで導入できるため、多くの診療所の参加が期待でき、さまざまな地域の医療連携ネットワークづくりに貢献します。



#### 在宅医療チーム間での情報共有を可能にする「在宅メディケアクラウド」

コニカミノルタの「在宅メディケアクラウド」では、電子カルテをはじめとした在宅患者の情報を、リアルタイムに共有化できるクラウド型のポータルサイトを提供します。在宅チーム医療に携わる方々が、パソコンや携帯端末からアクセスすることで、一人の患者さんについて、それぞれ個別に入手したデータを集約し、全員が共有して活用できます。これにより、患者さんは自宅にいながらにして、病院内と同等の連携の取れた医療サービスを受けることができます。



# 世界最先端の「光の技術」を駆使して 社会に革新を

光を感じる、集める、導く——コニカミノルタは光を操るエキスパートとして、光を自在にコントロールする、世界最先端の“光の技術”を確立することで、他社の追随を許さない高付加価値なモノづくりを実現してきました。今後も世界トップの技術で、さまざまな産業界に革新をもたらす製品を提供し、より良い社会インフラづくりに貢献していきます。



## 照明へ

LEDや有機ELなど最先端の光源研究から、照明器具の品質管理、さらには室内の環境光まで、コニカミノルタの光計測機器がさまざまな場面で活躍しています。グループ会社であるインストゥルメントシステムズ社の製品は、高い信頼性で業界のデファクトスタンダードとなっています。



分光器



## ディスプレイへ

スマートフォンから大型テレビまで、ディスプレイの色や明るさの測定に、コニカミノルタの計測機器が業界標準として使用されています。近年では、人間の目に近い感度を持った測定器を開発し、ディスプレイの性能向上に貢献しています。



ディスプレイ  
カラーアナライザー



## 映画館へ

長年培ってきたレンズ製造のノウハウを活かして、高性能なレンズを提供。高い品質と信頼性が求められるデジタルシネマ用プロジェクターにも、明るく歪みなく投射ができるコニカミノルタの光学ユニットが使われています。



プロジェクター用  
光学ユニット



## 自動車へ

イメージ通りの色を実現するには、色の数値管理が欠かせません。コニカミノルタは、外装から内装用の樹脂成形品まで、自動車向けにさまざまな色測定機器をラインアップし、ものづくりの品質向上を支援しています。



分光測色計

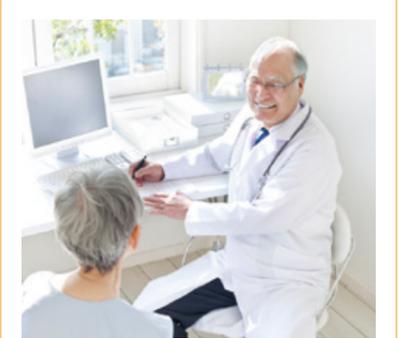


## 家庭へ

高精細が進む映像コンテンツの記録には、大容量のブルーレイディスクが適しています。コニカミノルタのブルーレイディスク用ピックアップレンズは、高密度に記録されたディスクからも正確にデータを読み取るため、多くの読み取り装置に採用されています。



光ディスク用  
ピックアップレンズ



## 医療へ

パルスオキシメーターは、光計測技術によって採血せずに動脈の血中酸素飽和度と脈拍数が測定できる医療機器です。コニカミノルタは世界初の指先測定型パルスオキシメーターを開発し、以来、医療の効率化や患者さんの負担軽減に貢献しています。



パルスオキシメーター

# 「材料技術」と「製膜技術」を結集し、 産業・社会の期待に応える新たな“機能”を

有機化学合成や組成設計など、独自の高性能材料を生み出す「材料技術」と、塗布や蒸着など、幅広い手法で微細な薄膜を加工する「製膜技術」。蓄積してきたコア技術を活かして、保護、遮熱、遮水、偏光、発光など、産業・社会で求められる機能を備えた高付加価値な材料を生み出し、新しい時代の豊かな社会づくりに貢献していきます。

## For Displays

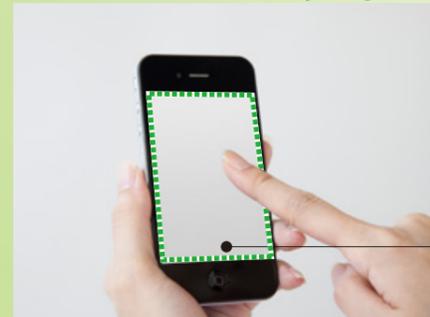


テレビやパソコン、スマートフォンなどに幅広く利用されている液晶ディスプレイ。その偏光板を保護する「TACフィルム」、視野角拡大機能を付与した「VA-TACフィルム」を提案しています。さらに高付加価値製品の提案により、広く各種ディスプレイの進化に貢献していきます。

液晶偏光板用TACフィルム  
視野角拡大用VA-TACフィルム



## For Mobile Displays



スマートフォン、タブレットPCなどの次世代モバイルディスプレイには、軽くて薄く、割れないプラスチック基板を用いたフレキシブルデバイスが求められています。高いバリア特性と柔軟性を兼ね備えた「ハイバリアフィルム」は、フレキシブルデバイスの高品質化に貢献します。

バリアフィルム



## For Energy

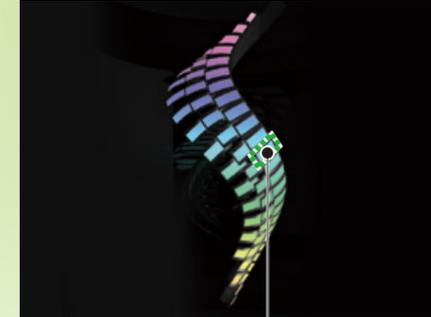


再生可能エネルギーの一つとして注目される集光型太陽熱発電は、多数の鏡で反射・集中した太陽光を熱源とする発電システムです。コニカミノルタは、培ってきた高度な材料技術を駆使して、高い反射性能と優れた耐久性を持つ「フィルムミラー」を開発。今後は事業化を加速し、太陽熱発電の普及と発展に貢献していきます。

フィルムミラー



## For Lighting



電流を流すことで発光する有機材料を利用した「有機EL照明」は、面全体で均一に光る新たな光源としての特徴に加え、消費エネルギーが少なく、水銀を使用しないなどの環境特性から、次世代照明として期待されています。コニカミノルタは、2014年に世界最高の発光効率139lm/Wを達成した白色有機EL照明パネルを発表するなど、先駆的な開発成果を生み出しています。また、2014年秋には、ロール・ツー・ロール方式を導入した、白色および調色機能付の樹脂基板フレキシブル有機EL照明パネルの量産工場を世界で初めて稼働するなど、独自の技術力を遺憾なく発揮して有機EL照明の事業化を加速しています。

有機EL照明

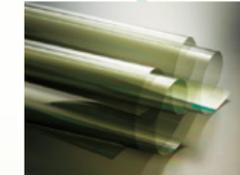


## For Building



建築用窓ガラス（室内側）に貼り付ける「機能性ウィンドウフィルム」として、遮熱、遮熱+防汚、防汚、飛散防止の4タイプをラインアップ。優れた遮熱性により、室内での冷暖房の使用を抑えることで、大きな省エネ効果をもたらします。

機能性ウィンドウフィルム



## For Automobiles



絶対的な安全性が求められる自動車用ガラス（車内側）向けにも「ウィンドウフィルム」を提供しています。高い赤外線反射率により車内の高温化を防ぐとともに、優れた電磁波透過性によりETCなどの車載通信端末の機能を妨げません。

※各国法律により、ガラスに貼れるフィルムの範囲・内容が異なります。

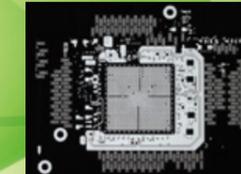
Core Technologies

材料合成技術

材料設計技術

製膜・コーティング技術

ガラス乾板



# 革新創造型の 新たなビジネスモデルへ



## 開発(インベンション)から、革新(イノベーション)へ――

コニカミノルタは、従来の「独自の差別化技術開発」をベースとした商品開発型ビジネスモデルから、「顧客価値提案、コニカミノルタのコア技術と世界の最先端技術との新たな融合」による革新創造型のビジネスモデルへと転換を図っていきます。

その一環として、お客様とのコラボレーションによる開発や、他社との技術協業による「オープンイノベーション」をさらに加速させるため、国内外のさまざまなパートナーと「共に創る」場も提供します。

私たちは、より高い志と誇りを持ちながら研究開発に励み、新しい価値を創造し、質の高い社会の実現に貢献していきます。

## Formation

### 全世界のお客様に根差した事業開発を行う「Business Innovation Center」を新設

コニカミノルタでは、地域・市場やお客様のニーズに即した新規サービス事業を開発・提供していくため、2014年に世界5極（北米／欧州／アジア・パシフィック／中国※／日本）体制で「Business Innovation Center (BIC)」を新設しました。

BICでは、お客様への提供価値を高めるべく、現地のさまざまな開発機関、パートナー企業など一体になって事業開発を推進します。また、BICのトップと主力スタッフは、現地にて採用した人材で構成しており、地域に密着した対応ができることも大きな特長です。

※ 2014年度中に開設予定



### 次世代型R&D施設を 東京サイト八王子に開設

2014年4月、主要研究拠点の一つである東京サイト八王子に、地上7階、延床面積約4万平方メートルに及ぶグループ最大規模の研究開発施設がオープンしました。

この施設は、多様な分野の研究を行う「知的共創空間」として、国境や組織の壁を「超越」した対話を実現する、環境性や安全性にも配慮した「スマート」な研究開発拠点を目指しており、その想いを込めて「SKT : Smart R&D Office for Knowledge Work, and Trans-boundary Communication」と名付けています。開放的なアトリウムを中心に、さまざまなコミュニケーションスペースを充実させ、豊かな発想力を磨く環境を整備しました。



## Core Technologies

### 高度で多彩な技術を融合させ、 新たな価値の創出へ

“Giving Shape to Ideas”を実践し、時代が求める新たな価値を創出していくための原動力となるのが、長きにわたり培ってきた独自のコア技術です。コニカミノルタでは、製品の魅力や競争力の源泉となる「材料分野」「光学分野」「画像分野」「微細加工分野」の4分野における12の技術を「コア技術」と定義しています。これらコア技術の複合化、融合化を進めることで、より高付加価値な製品・サービスを生み出し、既存事業をさらに進化させるとともに、次代の柱となる新事業の創造・育成に努めています。

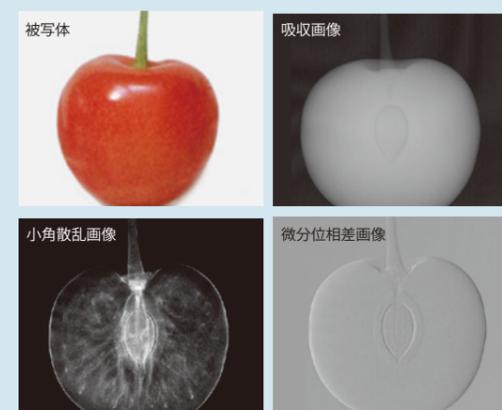


## イノベーション事例

### 産学連携による「高感度X線撮影装置」の開発

コニカミノルタは、大学や公的研究機関などとの連携による研究開発を積極的に推進しています。例えば近年では、科学技術振興機構 (JST) が推進する事業の一環として、X線の屈折を利用した革新的なX線撮影装置の研究に取り組んでいます。

従来から病院などで一般的に用いられているX線撮影装置では、骨のようにX線を吸収しやすい組織の撮影は容易に行えますが、X線をあまり吸収しない柔らかい組織や軟骨などの撮影は困難でした。この共同研究では、撮影装置に「タルボ・ロー干渉計」という原理に基づく新しい技術を導入し、柔らかい組織や軟骨のX線画像撮影に成功しました。これにより、これまで難しかったリウマチによる軟骨の異常や、ごく初期の乳がんなどを検出することが期待されます。



写真はさくらんぼの撮影サンプル。一回の撮影で、従来のX線写真に類似した画像(右上)を含む、3種類のデータを得られる。

# 社会の質の向上に貢献する 新しい価値の創造へ

CSR活動の詳細は、ウェブサイトで公開しています。  
<http://www.konicaminolta.jp/about/csr/>



エチオピアでの植樹プロジェクト



コニカミノルタプラザでの企画展示



乳がん研究支援のための募金イベント

コニカミノルタは、経営理念である「新しい価値の創造」の実現を追求し、経営ビジョンである「グローバル社会から支持され、必要とされる企業」「足腰のしっかりした、進化し続けるイノベーション企業」となることを目指しています。そのため、事業活動を通じて社会の質を向上させる価値を生み出し、社会的課題の解決に貢献していきたいと考えています。

コニカミノルタのCSR活動は、こうした経営理念・経営ビジョンや「コニカミノルタグループ行動憲章」を基本としています。その理解と実践のよりどころとして、全世界共通の「コニカミノルタ

グループ行動憲章ガイダンス」を作成し、行動憲章の各項目における望ましい行動を示しています。そのなかで、国連が提唱し、コニカミノルタも署名している「グローバル・コンパクト」をはじめ、「世界人権宣言」などの国際的な社会規範を尊重し、その理念に即して行動することを明記しています。

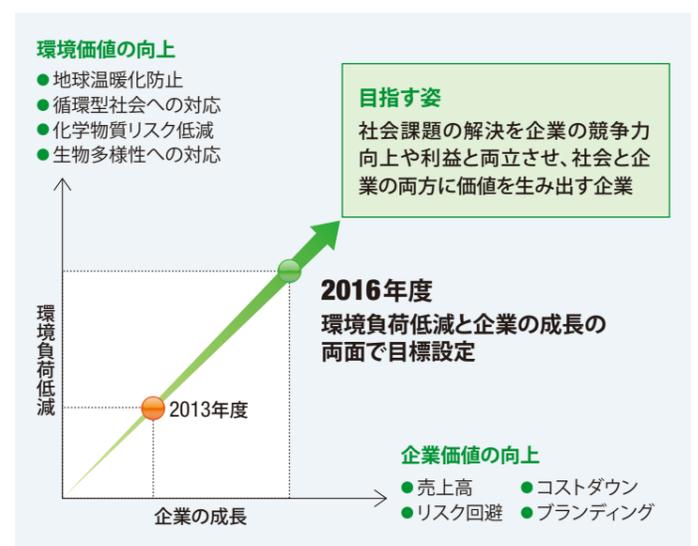


## TOPICS

### 企業成長と環境負荷低減の両立を目指す「中期環境計画2016」を策定

コニカミノルタは、地球温暖化防止や資源循環、生物多様性の保全に向けて、2050年をターゲットとする長期環境ビジョン「エコビジョン2050」を策定しています。このビジョンの実現に向けたアクションプランとして、新たに2016年度をターゲットとする「中期環境計画2016」を策定しました。

この環境計画では、「社会課題の解決を企業の競争力向上や利益と両立させ、社会と企業の両方に価値を生み出す企業」、いわゆるCSV (Creating Shared Value) を実践する企業が、21世紀の社会の要請に答える“Sustainable (持続可能) な企業”であるとの考えに基づき、「環境負荷低減」と「企業の成長」の両面で目標を設定しています。



### 国内外の評価機関から高い評価を獲得

コニカミノルタは、世界的に権威のある社会的責任投資 (SRI) 指標の一つ「Dow Jones Sustainability World Indices」(DJSI World) の構成銘柄に3年連続で採用、さらに「FTSE4Good Global」インデックスでも2004年から連続採用されるなど、国内外のSRI調査機関から高い評価を受けています。2014年1月には、スイスに拠点を置く、世界の代表的なSRI調査・格付会社であるRobecoSAM社によって、「シルバークラス」に選定されました。さらに、企業の気候変動対策に関する国際的な非営利団体CDPが2013年に発表した「CDPジャパン500」において、「気候変動パフォーマンス先進企業」と「気候変動情報開示先進企業」の両方に選定されました。

MEMBER OF  
**Dow Jones Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM

Corporate Responsibility Prime  
rated by  
**oekom research**

**ROBECOSAM Sustainability Award**  
Silver Class 2014

**MS-SRI** | モーニングスター 社会的責任投資格付指数  
Morningstar Sustainability Research & Index

**FTSE4Good**

**CDP CLIMATE PERFORMANCE LEADER 2014**

**CDP CLIMATE DISCLOSURE LEADER 2014**

## プラネタリウム

60年近くにおよぶ歴史のなかで培われた確かな技術とノウハウをベースに、  
投映機器の開発・製造からコンテンツ制作、施設建設・運営まで、  
プラネタリウムで美しい星空をトータルプロデュースしています。



世界初のプラネタリウムが完成したのは1923年のこと。それから34年後の1957年、国産初のプラネタリウムを完成させたのがコニカミノルタです。以来、投映機器の開発・製造から、コンテンツ制作、施設の建設・運営までをトータルに手がけるプラネタリウムの総合メーカーとして、常に新しい魅力を創造、発信してきました。

なかでも機器開発については、光学式とデジタル式の両投映システムを同時に制御する世界初の統合型プラネタリウム「GEMINISTAR(ジェミニスター)」を開発するなど、プラネタリウ

ムの進化を牽引する存在として、世界から注目を集めています。また、「コニカミノルタプラネタリウム“満天” in Sunshine City」と「コニカミノルタプラネタリウム“天空” in 東京スカイツリータウン®」の2つの直営館を通じて、お客様にプラネタリウムの新しい楽しみ方を提案しています。

さらに、直営館で培ったノウハウを活かして、自治体や企業のプラネタリウム館の設計・建設から運営までをトータルにサポートするなど、訪れる人々に夢と感動をお届けする空間づくりをお手伝いしています。

## スポーツ支援とスポンサーシップ

陸上競技を通じて、スポーツ振興に貢献するほか、  
ゴルフやサッカーなど世界各地で行われるスポーツイベントへの  
スポンサーシップを通じた社会貢献に努めています。



コニカミノルタは、企業スポーツや各種スポーツ大会へのスポンサーシップを通じて、スポーツの振興に貢献するとともに、次代を担う子どもたちをはじめ、広く社会にスポーツのもつ「夢や感動を与え得る力」を伝えていきたいと考えています。

1970年以降の歴史をもつ陸上競技部は、日本の駅伝最高峰の大会であるニューイヤー駅伝で2014年を含め8回の優勝を達成するなど、「21世紀の駅伝王者」として実業団駅伝をリードする存在です。今後もさらなる挑戦を続ける一方で、小学生や市民を対象とした「ランニング教室」などを通じて、多くの人々に走る楽しさを提供することで、地域社会に貢献していきます。

また、1997年より特別協賛スポンサーとして展開するメジャートーナメント「日本女子プロゴルフ選手権大会 コニカミノルタ杯」や、アジアサッカー連盟(AFC)のオフィシャルスポンサーとしての活動など、さまざまなスポーツを支援。資金面でのサポートだけでなく、資料出力用に複合機を提供するなど、事業活動を活かした支援を行っています。

そのほかにも、スポーツ大会への招待や、チャリティイベントへの支援、地域の子どもたちを対象としたスポーツイベントの開催など、世界各地でさまざまな取り組みを進めています。

# 世界50ヶ国に拠点を広げるコニカミノルタグループ



- 販売
- ▲ 生産
- 開発・その他

## コニカミノルタ株式会社

- 日本**
- コニカミノルタジャパン株式会社
  - インターリンク株式会社
  - ERGOMPM株式会社
  - キンコーズ・ジャパン株式会社
  - コニカミノルタウイズユー株式会社
  - コニカミノルタエンジニアリング株式会社
  - コニカミノルタオプトデバイス株式会社
  - コニカミノルタオプトプロダクト株式会社
  - コニカミノルタケミカル株式会社
  - 株式会社コニカミノルタサプライズ
  - コニカミノルタサプライズ関西株式会社
  - コニカミノルタ情報システム株式会社
  - コニカミノルタソフトウェア研究所株式会社
  - コニカミノルタテクノプロダクト株式会社
  - コニカミノルタテクノサーチ株式会社
  - コニカミノルタビジネスアソシエイツ株式会社
  - コニカミノルタブラネタリウム株式会社
  - コニカミノルタメカトロニクス株式会社

- アジア・パシフィック**
- Konica Minolta (China) Investment Ltd.
  - Konica Minolta Business Solutions (CHINA) Co., Ltd.
  - Konica Minolta Business Solutions (WUXI) Co., Ltd.
  - Konica Minolta Business Technologies (DONGGUAN) Co., Ltd.
  - Konica Minolta Business Technologies (WUXI) Co., Ltd.

- Konica Minolta Technology Development (Wuxi) Co., Ltd.
- Konica Minolta Consulting (SHENZHEN) Co., Ltd.
- Konica Minolta Software Development (Dalian) Co., Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions (HK) Ltd.
- Konica Minolta Business Technologies Manufacturing (HK) Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions India Private Ltd.
- Kinko's Korea Ltd.
- Konica Minolta Pro Print Solutions Korea Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions (M) Sdn. Bhd.
- Konica Minolta Business Technologies (Malaysia) Sdn. Bhd.
- Konica Minolta Business Solutions Asia Pte. Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions (Thailand) Co., Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions Vietnam Co., Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions Australia Pty. Ltd.
- Ergo Asia Pty Limited
- Konica Minolta Medical & Graphic (SHANGHAI) Co., Ltd.
- Konica Minolta (Xiamen) Medical Products Co., Ltd.
- Konica Minolta Healthcare India Private Ltd.
- Konica Minolta Sensing Singapore, Pte. Ltd.
- Konica Minolta Sensing Korea Co., Ltd.
- Konica Minolta Opto (SHANGHAI) Co., Ltd.

- Konica Minolta Optical Products (SHANGHAI) Co., Ltd.
- Konica Minolta Opto (DALIAN) Co., Ltd.
- IT-CHEM CO.,LTD.

- 北米・中南米**
- Konica Minolta Holdings U.S.A., Inc.
  - Konica Minolta Laboratory U.S.A., Inc.
  - Konica Minolta Business Solutions U.S.A., Inc.
  - Charterhouse USA, Inc.
  - SymQuest Group, Inc.
  - Konica Minolta Supplies Manufacturing U.S.A., Inc.
  - Konica Minolta Business Solutions (Canada) Ltd.
  - Charterhouse Marketing Services Canada Limited
  - Konica Minolta Business Solutions de Mexico SA de CV.
  - Konica Minolta Business Solutions do Brasil Ltda.
  - Konica Minolta Business Solutions do Sul Ltda.
  - Konica Minolta Healthcare Americas, Inc.
  - Konica Minolta Healthcare do Brasil Comércio Limitada
  - Sawae Tecnologia Ltda.
  - Konica Minolta Sensing Americas, Inc.
  - Radiant Vision Systems, LLC

- 欧州・中近東**
- MOBOTIX AG

- Konica Minolta Business Solutions Deutschland GmbH
- Konica Minolta Business Solutions Europe GmbH
- Konica Minolta IT Solutions GmbH
- Konica Minolta Business Solutions Austria GmbH
- Konica Minolta Business Solutions (BELGIUM) N.V.
- Konica Minolta BH-Poslovna Rjesenja d.o.o.
- Konica Minolta Business Solutions Bulgaria EOOD
- Konica Minolta Croatia-Business Solutions d.o.o.
- Konica Minolta Business Solutions Czech spol. sr.o.
- WEBCOM a.s.
- Business Center Nord og Midtsjælland A/S
- Konica Minolta Business Solutions Denmark a/s
- Konica Minolta Business Solutions Finland Oy
- Konica Minolta Business Solutions France S.A.S.
- Serians S.A.S.
- Konica Minolta Supplies Manufacturing France S.A.S.
- Konica Minolta Business Solutions Greece S.A.
- Konica Minolta Hungary Business Solutions Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions Italia S.p.A.
- Konica Minolta Baltia UAB
- Konica Minolta Business Solutions Nederland B.V.
- Konica Minolta Business Solutions Norway AS

- Konica Minolta Business Solutions Polska s.p. z.o.o.
- Konica Minolta Business Solutions Portugal, Unipessoal Lda.
- Konica Minolta Business Solutions Romania s.r.l.
- Konica Minolta Business Solutions Russia LLC
- Konica Minolta Business Solutions SE, Ltd.
- Konica Minolta Slovakia spol. s.r.o.
- Konica Minolta Business Solutions Slovenia d.o.o.
- Konica Minolta Business Solutions Spain S.A.
- Konica Minolta Business Solutions Sweden AB
- Konica Minolta Turkey Business Technologies A.S.
- Konica Minolta Ukraine
- Konica Minolta Business Solutions (UK) Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions East Ltd.
- KONICA MINOLTA Business Solutions (Northern Scotland) Ltd
- Charterhouse PM Ltd.
- Indicia Group Limited
- ProcessFlows Holdings Ltd.
- Konica Minolta Business Solutions Middle East FZE
- Konica Minolta IJ Textile Europe S.r.l.
- Konica Minolta Medical & Graphic Imaging Europe B.V.
- Konica Minolta Medical Systems Russia LLC
- Konica Minolta Sensing Europe B.V.
- Instrument Systems GmbH

- 1873年 杉浦六三郎、「小西屋六兵衛店」で写真および石版材料の取り扱い開始(後のコニカ株式会社の創業)
- 1903年 国産初のブランド付カメラ「チェリー手提用暗箱」発売
- 1928年 田嶋一雄、「日独写真機商店」(後のミノルタ株式会社)を創業
- 1933年 「さくらレントゲンフィルム」発売
- 1940年 国産初のカラーフィルム「さくら天然色フィルム」発表
- 1957年 ブラネタリウム一号機完成
- 1960年 複写機一号機「コピーマスター」完成
- 1975年 世界初の連動ストロボ内蔵35mmカメラ「C35EF(ピッカリコニカ)」発売
- 1977年 世界初の自動焦点カメラ「C35AF(ジャスピコニカ)」発売  
世界初の指先測定型パルスオキシメーター「OXIMET MET-1471」発売
- 1983年 世界初、倍率が無段階に選べる「ズーム複写機」EP450Z」発売
- 1984年 コンパクトディスク用超高精度非球面プラスチックレンズを開発
- 1985年 本格的なオートフォーカス機能を備えた一眼レフカメラ「α-7000」発売
- 1989年 医療用画像出力システム「レーザーイメージャーLi-10」発売
- 1990年 モノクロレーザープリンター「SP101」発売  
デジタルフルカラー複写機「CF70」発売
- 2000年 液晶偏光板用TACフィルム事業の本格展開開始  
「重合法トナー」の製造・販売を行う合弁会社、「株式会社コニカミノルタサプライズ」発足
- 2003年 コニカとミノルタが統合、「コニカミノルタホールディングス株式会社」誕生
- 2004年 直営ブラネタリウム館「サンシャインスターライトドーム“満天”」オープン  
次世代インクジェットテキスタイルプリンター「Nassenger V」発売
- 2005年 世界初の位相コントラストマンモグラフィ「Mermaid」発売
- 2007年 フォト・カメラ事業を終了  
「デジタルイメージングスクエア」初開設
- 2010年 デジタル印刷システム「bizhub PRESS C8000」発売
- 2011年 カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR」発売  
世界初のりん光発光材料のみを使用した有機EL照明パネルを発売
- 2012年 「コニカミノルタブラネタリウム“天空”in東京スカイツリータウン」オープン
- 2013年 経営体制を再編し、社名を「コニカミノルタ株式会社」に変更



KONICA MINOLTA

## コニカミノルタ株式会社

〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー

<http://konicaminolta.jp>

### シンボルロゴについて

地球をモチーフとしたシンボルマーク「グローブマーク」は、コニカミノルタの無限の広がり  
世界中のお客様に対する新しい価値の提供を表現したものです。